

- 問1 福岡空港において、訪日外国人の地域別割合で韓国からの利用者が約半数に達するなど、アジア諸国からの利用が特に多い理由として最も適切なものはどれか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 東アジアの主要都市との地理的な距離が近く、短時間での移動が可能であるため | 2. 欧米諸国との貿易の拠点として、19世紀から大規模な国際空港として整備されたため | 3. 空港周辺に広大な農地が広がり、アジア向け農産物の輸出が中心となっているため | 4. 首都圏に近接しており、日本国内の全ての空港の中で最も滑走路数が多いため |
|---|--|--|--|
- 問2 九州地方の西側に位置する東シナ海には、大陸から続く平坦な海底が広がっています。このような、一般に水深が200mよりも浅い海底地形を何と呼びますか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 海溝 | 2. 大陸棚 | 3. 砂州 | 4. 海盆 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問3 北九州市では、かつて経済を支えた鉄鋼業などの重厚長大産業が衰退し、産業構造の転換期を迎えています。1980年ごろを境に人口減少が続いている状況において、都市の土地利用に見られる変化として最も適切な説明はどれですか。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 広大な工場跡地が、住宅地や商業施設へと再開発されている | 2. 食料自給率を向上させるため、工場跡地のすべてが農地に転換されている | 3. 人口減少を食い止めるため、工場跡地をすべて大規模な公営墓地にしている | 4. 鉄鋼業の再興を待ため、工場跡地は一切の手を加えられず放置されている |
|--------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問4 九州地方南部に広がる「シラス台地」と呼ばれる火山灰の台地において、大規模な稲作よりも豚や鶏などの畜産業が盛んに行われてきた理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. シラス台地は標高が高く、夏季の気温が稲の成長に必要な水準まで上がらないため | 2. 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため | 3. 大規模な灌漑設備を整えるよりも、家畜の餌となるトウモロコシの栽培の方が容易であったため | 4. 台地の土壌に塩分が多く含まれており、塩害に弱い稲の栽培が不可能であったため |
|--|--|--|--|
- 問5 鹿児島県から宮崎県にかけての九州南部には、過去の巨大な火山活動によって噴出された火山灰や軽石などが厚く積み重なってできた広大な台地が広がっています。この地形の名称として正しいものを選択してください。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|----------|--------|
| 1. シラス台地 | 2. カルデラ | 3. リアス海岸 | 4. 扇状地 |
|----------|---------|----------|--------|
- 問6 九州地方の南側から東側の沿岸部に沿って北東方向へと流れる強い海流について、この海流は低緯度から北上する「暖流」としての性質を持ち、別名「日本海流」とも呼ばれます。この海流の名称として正しいものを選びなさい。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|----------|
| 1. 黒潮 | 2. 親潮 | 3. 対馬海流 | 4. リマン海流 |
|-------|-------|---------|----------|
- 問7 人口増減率がプラス〇点四七パーセントを示している沖縄県の産業構造について、統計資料から読み取れる特徴を説明したものととして、最も適切な記述を選びなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 製造品出荷額は全国的に見て低い水準にあるが、温暖な気候を活かした畜産業などが盛んである。 | 2. 広大な平原を利用した大規模な機械化農業が中心であり、製造品出荷額も全国トップクラスである。 | 3. 海面漁業の漁獲量が国内最大であり、それに関連する食料品製造業の出荷額が県内産業の半分以上を占める。 | 4. 人口増加に伴い、自動車産業などの重化学工業が急成長し、製造品出荷額が九州地方で最大となっている。 |
|---|--|--|---|
- 問8 九州南部のシラス台地では、古くから稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および豚や鶏などの畜産が盛んに行われてきました。このように土地が利用されてきた理由を、地形や土壌の観点から説明したものととして適切なものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 台地が平坦ではなく急斜面が多いため、大規模な水田を整備する物理的な余地がないから。 | 2. 標高が高く一年を通じて気温が低いため、米の成長に必要な積算温度が不足しているから。 | 3. 土壌に塩分が蓄積しやすい性質があり、塩害に弱い稲の栽培には適していないから。 | 4. 土壌が火山灰や軽石を多く含み水はけが良すぎるため、水田に必要な水を確保しにくいから。 |
|--|--|---|---|
- 問9 九州地方北部に位置する筑紫平野では、夏に米を、冬に麦を栽培するといったように、同じ耕地で一年のうちに二種類の異なる作物を栽培する農業が行われています。このような栽培方法を何といいますか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| 1. 促成栽培 | 2. 二期作 | 3. 二毛作 | 4. 抑制栽培 |
|---------|--------|--------|---------|
- 問10 福岡県における1970年と2020年の工業統計を比較すると、鉄鋼の出荷額は約4,700億円から約9,800億円へと約2倍に増加しています。しかし、製造品出荷額全体に占める鉄鋼の「割合」は低下しました。その理由として適切な説明はどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 北九州工業地帯の衰退により、福岡県全体の製造品出荷額が1970年より減少したため。 | 2. 自動車などの輸送用機械の出荷額が、鉄鋼の増加額を下回るわずかな伸びに留まったため。 | 3. 鉄鋼の出荷額そのものが、1970年の水準を大きく下回る結果となったため。 | 4. 製造品出荷額の合計が、鉄鋼の伸びを大きく上回る5倍以上の規模にまで増加したため。 |
|--|--|---|---|
- 問11 北九州工業地帯は、明治時代に官営八幡製鉄所が建設されて以降、日本の重工業を支えてきました。この地域の産業構造の変遷と現状について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 沿岸部の埋め立て地に大規模な製粉・製糖工場が集まり、食料品工業が産業の柱へと成長した。 | 2. 豊富な石炭資源を背景に、現在も鉄鋼業を中心とした金属工業の割合が製造品出荷額の過半数を占めている。 | 3. 瀬戸内工業地域と同様に、大規模な石油化学コンビナートが形成され、化学工業が主要な産業となっている。 | 4. 近年は自動車工場などの進出が進み、金属工業に代わって機械工業の割合が最も高くなっている。 |
|--|--|--|---|
- 問12 福岡県の産業や交通の実態について、その背景や特徴を説明したものととして適切なものはどれですか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 広大な平野を利用した大規模な機械化農業が中心であり、工業よりも農業産出額の割合が高い。 | 2. 中京工業地帯の中核として、航空機の利用客数よりも自動車の出荷額において全国一の規模を誇る。 | 3. 東北地方の経済の拠点であり、鉄鋼業よりも電子部品や自動車の製造が産業の中心となっている。 | 4. 県庁所在地の福岡市は政令指定都市であり、交通の要所として国内線旅客数が非常に多い空港を有している。 |
|--|--|---|--|
- 問13 九州地方南部の地形図において、標高の高い平坦な場所に「畑」や「茶畑」の地図記号が集中して見られる地域があります。この地域の土地利用の背景として、土壌の性質の観点から説明したものととして適切なものはどれですか。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---------------------------------------|
| 1. 水が地下に浸透しやすく水田としての利用が困難なため、畑作や畜産が行われている。 | 2. 土壌に栄養分が極めて豊富であり、一度の作付けで多量の米が収穫できるため。 | 3. 海岸に近く塩害の影響を受けやすいため、塩分に強い農作物のみを栽培している。 | 4. 標高が高く涼しい気候であるため、寒さに強い果樹の栽培に特化している。 |
|--|---|--|---------------------------------------|